

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

リ・ボーン

グループの名称

House Master

直近採択グループ番号

04-0409-0544

(グループ代表者)

代表者名

小林 正彦

代表者印

代表者所属先

小林木材株式会社

代表者所在地

大阪府枚方市楠葉野田

代表者電話番号

07-2857-7414

(グループ事務局)

事務局事業者名

小林木材株式会社

事務局担当者名

小林 雅祥

印

事務局郵便番号

573-1103

事務局所在地

大阪府枚方市楠葉野田1丁目15番1号

事務局電話番号

07-2857-7414

事務局FAX

07-2850-2553

事務局担当者E-mail

m-kobayashi@kobayashimokuzai.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
		申請が未確定(上限100万円)			3	戸			
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
		申請が未確定(上限100万円)			10	戸			
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
	申請が未確定(上限150万円)			戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸					
	申請が未確定(上限165万円)			戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/					
			m ²						
		申請が未確定	棟						
			m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	建築の早い施工構成員から配分をおこなう								
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型									
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) リ・ボーン	(地域型住宅供給対象地域) 近畿
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) House Master	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0409-0544	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	本グループは、夏の厳しいヒートアイランド現象から住宅を保護すること、大阪と京都を繋ぐ幹線道路が通る地域のため、心と体を休めることのできる、健やかな住環境の提供を目指します。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	大阪市付近からのヒートアイランド対策として、断熱等性能等級4の確保。一級河川に沿った地域があったり、丘陵地がある等地形に富んだ形状のため、基礎高を400ミリ以上に保ち、耐震等級2以上とします。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	宿場町としての歴史を持つ地域や現在ではベッドタウンとしての新興住宅地の一面もありますので、その周辺地域の建物の調和を保つようなデザインとします。	◎
④①～③の背景	●夏はヒートアイランド現象の影響により大阪市付近で熱せられた空気が、大阪湾沿岸部からの海風に乘って流入し、枚方市付近で生駒山系に阻まれる。そのため、大阪市内よりも気温が高くなる傾向があり、国内で最も高い気温を記録する事もある。琵琶湖から大阪湾へと続く大きな一級河川があり、人々の生活と大きな結びつきを持っています。昔は伏見(京都)と大坂(大阪)への荷の行き来が盛んで、その中継港や宿場町としても栄えた地域であった。また、往来する大型の船に飲食物を販売する小船(俗名で「くわんか舟」といわれる船での商売が、荷物の運搬が鉄道に変わる明治まで盛んにおこなわれていた。現在でも幹線道路の主要なポイントとして栄えており、大阪や京都への通勤、通学者も多い地域です。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域材の良さを感じてもらうために、購入者に地域材の流通を伝える。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	事務局と構成工務店で調整をおこないます	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局で対応	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
b	一定の基準を満たした材料の提案	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が選定したマニュアルを理解し、反映をする	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 書類のチェックをおこないルールに沿っているか確認する	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 実際の見積りを細かく分類し、一目で材料費が分かるものを作成する	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造見学会をおこない、実際に見てもらい、説明を加えておこなう。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	設備機器の保証期間の延長をおこなうサービスや、水漏れなどの緊急性の高いトラブル(トイレのつまりや水漏れ応急修理)などに24時間対応可能なサービスを付帯し、お施主様への安心に繋がります。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) リ・ボーン	(地域型住宅供給対象地域) 近畿
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) House Master	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0409-0544	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間の履歴管理を有する「住宅履歴の図書館」を使用	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上に同じ	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上に同じ	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: インспекションのガイドラインに則る	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上に同じ	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と施工構成員での協議をおこなう	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 展示会に参加する等で情報を取り入れる	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上に同じ	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上に同じ	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と施工構成員が調査し検証する	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで情報の共有をおこなう	◎
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と構成員でバックアップできる体制を検証する	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的におこなう	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 調査・検証をおこない、再発防止に動く	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造見学会をおこなう	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 使用材の確立	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通の確認	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通構成員に情報を確認する	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 周囲の施工構成員が勉強できる資料を集める	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 仕入れの適材適所	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 6 今年度の参加目標人数 8	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 4	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 直接提案をおこなう	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 金物工法	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 内覧会や太陽光の設置の推進	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) リ・ポーン	(地域型住宅供給対象地域) 近畿	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) House Master	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0409-0544		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	グループ指定の地域材を主要構造部(土台・柱・梁・桁)の過半以上使用	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 主要構造材 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p style="text-align: center;">House Master</p>	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通構成員からの連絡網	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上に同じ	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局であらかじめ棟数の確認	◎
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 一室畳使用もしくは、置き畳の使用	◎
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 瓦の提案	◎
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 襖の提案	◎
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 障子の提案	◎
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 竹の提案	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 漆喰の提案	◎
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 景観を損なわない設計	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 廻りの方とのコミュニケーションを図る	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 色彩を揃える工夫	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 白木を採用	◎
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	景観を損なわないように、材料の提案をおこなう	◎
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			
	東日本大震災の復興に資する取組	募金活動	◎
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	上に同じ	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) リ・ボーン	(地域型住宅供給対象地域) 近畿
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) House Master	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0409-0544	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。